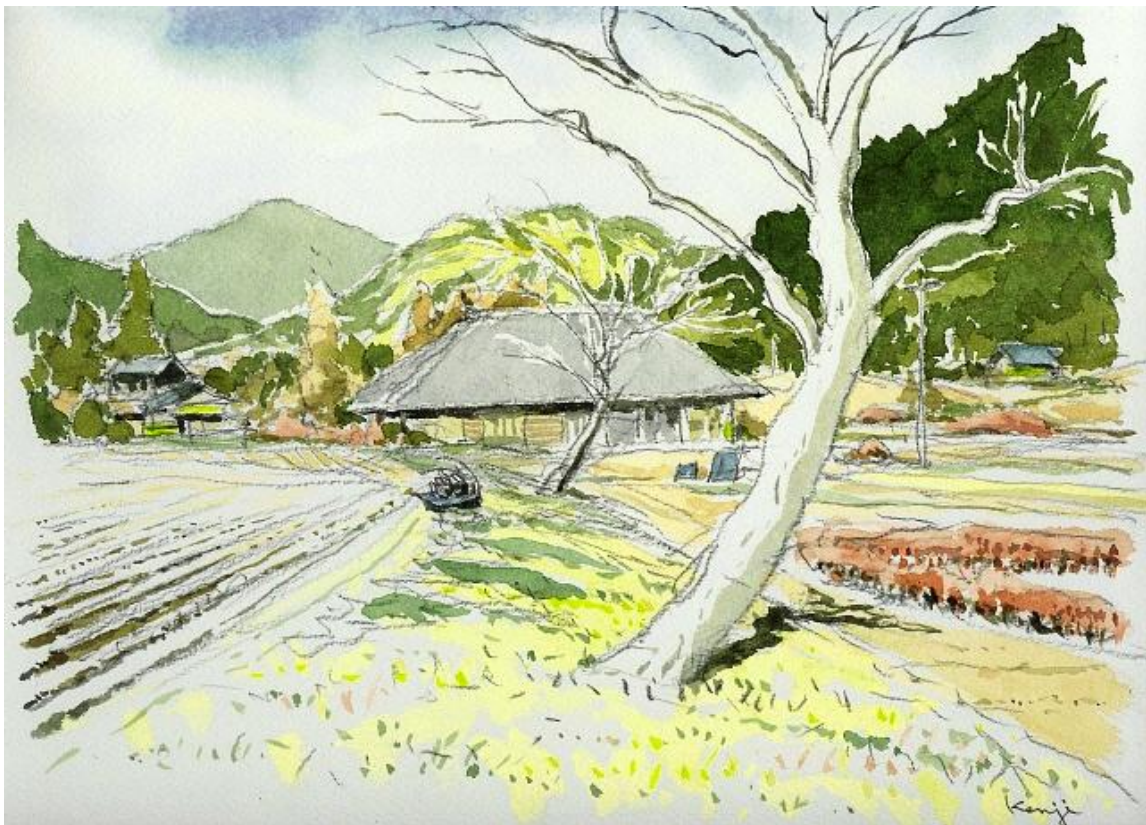


ふるさと

第 2 号



目 次

- 第 2 回麻生ふるさと交流会報告 …… (1)
☆ふるさと投稿☆
謎の多い出雲大社 …………… (6)
☆ふるさとニュース☆
B-1 グランプリ in 豊川 …………… (9)

発行: 2013 年 12 月 1 日 (第 2 号)

編集: 麻生ふるさと交流会事務局

連絡先: 吉森 正人 (事務局長)

Tel. 044-986-4095

E-Mail: masatoyosimori@gmail.co

m

麻生ふるさと交流会

第2回麻生ふるさと交流会：報告

場 所：麻生市民交流館 やまゆり

日 時：平成25年10月19日(土)

15時30分～19時30分

第1部 麻生ふるさと交流会 定例会 (司会 辻村一男さん) 15時30分～15時40分 松本良樹会長の挨拶

前回7月の設立総会より会員は7名増え54名となり、前回の報告と共に会報「ふるさと」を作成しました。交流会会則を含めて11ページとなり、記録担当他の方の協力により大変立派な会報を作成する事が出来ました。今後、継続的に会報を作成するためにも、会員皆様のご協力により充実したものにしていきたいと思っております。



司会の辻村一男さん



松本良樹会長の挨拶

第1部の1 3グループによる「ふるさと自慢」

1. 瀬戸内グループ：香川県…松本啓さん、横田彰夫さん、広島県…小林良子さん

瀬戸内4県のふるさと自慢、瀬戸内海の今昔、歴史のほか現在行われている国際芸術祭の説明、広島岡山両県の名所、旧跡、グルメ、青春時代のエピソードを小林さんの面白い身振り手振りで説明して頂きました。

続いて四国2県の愛媛県、香川県を横田さんと松本さんの講師??による説明、道後温泉の歴史、金毘羅さんほか四国八十八か所めぐりのお遍路さんなどを、パワーポイントにて説明。時間が超過し50分を要しました。



瀬戸内グループ

伊予国は愛比売(えひめ)と讀ひとか、「いよ」の「よ」は温泉の「伊」が転じたもの「いい湯」が「いよ」になったという説もあり、瀬の町松山道後は日本三古瀬の一つです。




瀬戸内グループ

香川県は古くからの観光地の他に西に砂に書かれた銭型、東に津田の松原も絶景です。



瀬戸内グループ

岡山と言えば、後楽園、祭り寿し、マスカット、多島美と桃太郎伝説は御本家




瀬戸内グループ

日本三名園の一つ後楽園は、約300年前に岡山藩2代藩主池田綱政が安らぎの場として作らせた庭園、



瀬戸内グループ

倉敷美観地区にある大原美術館は、昭和5年に開館した日本最初の私立西洋美術館、モネやピカソ、ルノワールなどの西洋絵画の巨匠たちの名画が飾られ、さらに現代絵画や工芸にいたるまで、広範な作品を展示・収蔵しています。

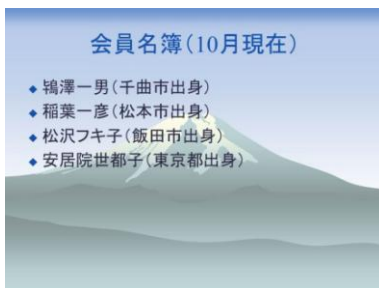


2. 信州ふるさと県人会：鵜沢一男さん、^{あぐい}安居院世都子さん

お二人により信州長野のふるさと自慢、鵜沢さんのハーモニカの演奏で長野にゆかりの音楽家の曲を演奏し出席会員も合唱し、大変楽しいひと時を過ごしました。全アジアのヒットソングである「北国の春」は、東北地方の歌と思われがちですが、これは信州信濃を歌った歌謡曲です。これには出席会員も大変びっくりされていました。

会員名簿(10月現在)

- ◆ 鵜澤一男(千曲市出身)
- ◆ 稲葉一彦(松本市出身)
- ◆ 松沢フキ子(飯田市出身)
- ◆ 安居院世都子(東京都出身)




I、信濃の国(望郷の歌)

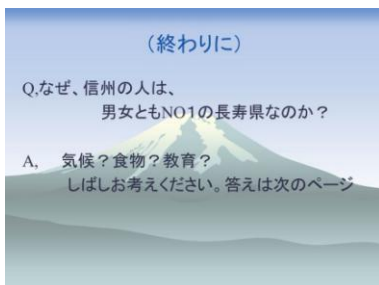
- ◆ 信州人としての自負と誇りを共有し心を一つに歌として、既に百年を超える命の火を燃やし続け、連続と歌いつながれている。(明治32年の6月、作詞、明治33年作曲)
- ◆ 信濃教育会によって、昭和43年(1968年)「明治百年事業」の一環として県歌に制定
- ◆ 6連からなる詩に長野全県下の誇るべき特徴(風土・産業・文化・名所旧跡・歴史・人物)が、はっきりと刻み込まれている
- ◆ 信州の過去から現在、未来へとつながる雄大な一大抒情詩としての見事に形象化されている。(6分)



(終わりに)

Q.なぜ、信州の人は、男女ともNO1の長寿県なのか？

A. 気候？食料？教育？
しばしお考えください。答えは次のページ




(答え)最大の理由はお茶をよく飲む

- ◆ お茶のカテキンには抗酸化作用、高糖化作用がある、最近医学的效果が検証された。緑茶は2009年第3類医薬品として認定。
- ◆ 抗酸化食品でも、低温抽出(世界特許取得)の緑茶が医学的效果を認定。カテキンは熱(80度以上)で異性化カテキンに変質、効果は減少する
- ◆ お茶の緑色は、細胞修復や生理機能がある天然の葉緑素(クロロフィル)

3. ちばらき県人会：千葉県（ちばけん）…大出頼子さん、白石さち子さん、
茨城県（いばらきけん）…宮本直紀さん、平塚征英さん

最初に両県についてのクイズが行われ、正解者には名産品の賞品が手渡されました。（あとで、懇親会の方に寄贈願いたいとのオマケつきでした）

プレゼンは、まず宮本さんによる60年前の子供の時の作文を、60年前の
声で朗読されたので、会場はいっせいに盛り上がる効果がありました。



大出さんの松戸周辺をガイド風に説明、これは大変ユニークな盛り上がり。
その後、白石さんから房総周辺、鴨川、誕生寺などの案内に続いて平塚さん
による茨城の名所、方言、訛り、筑波山などの説明。ガマの油売りは口上は難
しいので、次の番が回って来た際のお楽しみにとの事で、残念！

他に番外編として田中元介さんの白子の別荘に付いてのエピソードも添え
られ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



霞ヶ浦：帆引き船



袋田の滝



下館からの筑波山と勤行川



第2部 交流と懇親を深める会 (司会 吉森正人さん)

お楽しみの懇親会は日下部素子さんの音頭で乾杯し和やかに始まり、差し入れの飲み物食べ物で大変盛り上がりしました。

今回初めて参加された方の紹介や有志数人による民謡も披露されました。

今回も会員有志の方々より、色々と沢山の差し入れを頂戴しました。(敬称略)

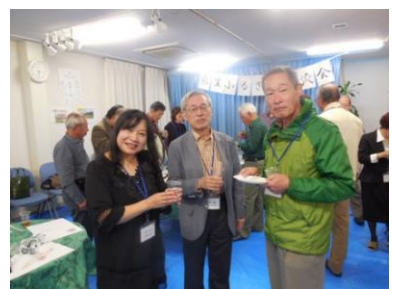
越乃寒梅、霧筑波、一人娘、鶴亀、宗玄
 赤ワイン、焼酎、とっておきのお酒
 大根・イカ・ネギの煮物、肉とサラダの巻物
 芋とレーズンのレモン煮、サラダ
 枝豆の醤油煮と漬物、お稲荷さん
 キンピラごぼう、一夜漬け、ミカン
 信州長野の出来たてのお焼き

竹市・宮本・平塚・吉岡・
 鈴木・吉森・中島・植木

川口・日下部・大出・
 白石・五十嵐・吉森・
 鍋沢

ふるさとポスター、季節の生け花……………日下部・大出

★その他…いろいろ有難うございました！（順不同。記載漏れはご容赦！）





閉会の挨拶 吉森正人副会長

今後の予定を説明。

次回の交流会は来年1月18日の予定。

ふるさと自慢…次回は新潟、神戸、金沢、九州が候補です。

会報は当分はカラーで配布の予定です。



謎の多い出雲大社

松本 良樹

今年60年目の遷宮を迎えた出雲大社ですが、伊勢神宮も20年目の遷宮で奇しくも同じ年に遷宮が行われるのは、私達の一生に一度の事でしょう。

出雲大社の宮司は千家(せんげ)家が代々世襲制で継いでいます。この家が天皇家と同族だという事を皆さんご存知でしょうか？



その訳は、出雲の国が高天原の**天照大御神**に国譲りをする以前、最初に国譲りの全権大使として天降ってきた**天穂日命**(アメノホヒノミコト)は大国主命に媚びて3年たっても復命しなかったのです。そこで高天原では二度目に**天若日子命**(アメノワカヒコ)を使者に立てますが、これも大国主命の娘下照比売(シタテルヒメ)と結婚し8年経っても報告しませんでした。

業を煮やした天照大御神は三回目の全権大使として**建御雷命**(タケミカズチ)を遣わし国譲りの交渉をさせ成功しますが、その代わりに大国主命の住む宮を造らせる事で決着します。この宮が出雲大社だと『**記紀**』神話に書かれています。最初の全権大使：天穂日命は天照大御神の子供で出雲国の国造(クニノミヤツコ)の祖だと言われています。天穂日命のお兄さんが**天忍穂耳命**(アメノオシホミミ)です。その子が**瓊瓊杵尊**(ニニギノミコト)で神武天皇へと続き皇室の祖先神となっていきます。まさに同族ですね！

上代では、天穂日命の一族が出雲国造として出雲東部の意宇郡にある**熊野大社**(出雲大社より格上で出雲の一の宮)の宮司も兼ね活躍していました。この国造家に残る系譜によれば、第24代出雲国造**果安**の時代【日本書紀(720年完成)が完成する以前】に意宇の地から出雲西部の**杵築大社**(出雲大社)に移り、政界を去り祭祀一色の生活に変わって行ったとされています。

果安の後、第25代の**広嶋**が国造となり、風土記監修者として出雲国風土記を733年に完成させています。よその国の風土記は大和から来た国守が中心となって纏められたそうですが、出雲では現地の人達だけで作られ国守はタッチしていません。故に、土の香りの強い独特な雰囲気をもった風土記になっています。

国造とは県主(アガタヌシ)と共に古代の政治機構の一つであり、神武天皇の時に倭の国造や葛城の国造が置かれたのが最初だと言われています。

5世紀の頃には全国で130程の国造が置かれ、その地方の支配をしていました。出雲の国造は『**先代旧事本紀**』に納められた『**国造本紀**』によると、第10代崇神天皇の御代『天穂日命の11世の孫：**宇賀都久怒**(ウガツクヌ)を以って国造に定めたまう』とあるのが最初(初代)だとあります。

律令制度が確立するまでは、地方の豪族が国造を担当していましたが、律令制度が整うと中央政府からの派遣された国守が地方にやってくる



出雲国造家の神紋
(二重亀甲に剣花菱)

ようになります。しかし出雲には、いまだに国造家があり、現在の出雲国造は**第84代千家尊祐**（たかまさ）で出雲大社の宮司でもあります。



遷宮完成で賑わう氏子達

話は変わりますが、平安時代の天禄1年(970)源為憲が子弟の知識習得のための教科書『口遊』(くちざさみ)に『雲太、和二、京三』と言うのがあります。

これは建物の大きさを著わした表現で出雲大社が太郎で(一番)大和の大仏殿が(二番)、京都の大極殿が(三番)であると言う意味です。出雲には大仏殿をしのぐ高さ**16丈(48.5m)**、神殿へ1町(109m)の階段があったと伝承されていました。



巨大な柱根3本(杉の大木)

平成12年出雲大社の拝殿背後から杉を3本ずつ束ねた巨大な柱根が出土しました。(写真右上) 柱根は13世紀前後のものと言われます。(鎌倉時代ですネー)

かつては社殿のすぐ前まで海が迫り、地盤も堅固ではなかった為か、鎌倉から平安にかけて本殿は何度も倒壊し、次第に高さを低くして行きました。ただし出雲大社では、更に昔雲の上に聳える神殿は**32丈(97m)**あったと千家家に残る文書は伝えています。現在の出雲大社は高さ24mです。



平安時代の出雲大社(高さ16丈)想像図

ところで、出雲大社の参拝方法は他の神社と違います。通常は、二礼二拍手一礼ですが出雲大社は、二礼四拍手一礼です。また、10月は神在月と言って、全国の神々が出雲に集まり会議をします。

この神様はどこから来るのでしょうか？

それは、国譲り神話で述べました、第三回の全権大使の建御雷命が降りて来た**稲佐の浜**に集合し、出雲国造の出迎えを受け、出雲大社へと案内します。

このせいか大国主命のご神体はこの稲佐の浜の方(西)を向いています。参拝者は南から拝殿へと向かいますので横を向いています。やはり参拝者より全国から来る神様の方が大事なのかもしれませんね。

参拝者は拝殿に着くと巨大な注連縄に驚きます。この注連縄の張り方が通常の神社とは反対なのです。拝殿に向かって右側が**緋**い始めて、左側が**緋**い終りになっています。



出雲大社の巨大な注連縄

何事につけても“ヘソ”曲りな出雲ですが、これも大和朝廷が確立して行く過程で出雲は敗者となり、過去の栄光を忘れきれず“ヘソ”曲りになったのでしょうか？ 謎の多い出雲大社です。

皆さん出雲大社には西と東に千家・北島の二人の宮司がいますがご存知でしょうか？ 南北朝時代、後村上天皇の興国4年(1343)第55代**千家孝宗**が出雲国造となりましたが、弟の**貞孝**は時の出雲での実力者 塩谷判官高貞の女が生母なので、その実力を背景に別家し、翌5年孝宗と貞孝が約定を結び、年中の祭事および所領等を分掌する事になりました。

ここから国造が二流に分かれ、本家が千家を姓とし、分家が北島の姓を用い、子孫がおのおの相継ぎ今日に至っています。出雲大社の年中行事は明治までは67回あり、そのうち48回は千家家、19回を北島家が執行しました。

60年に一度ある遷宮はすべて千家家の担当となっています。出雲国造は先代が亡くなると、その御霊を継承する為に火継の神事を行います。神聖な水と神火を用いた食事を摂る事によって『火=霊』を継承します。一方天皇は大嘗祭において天の羽衣を着込み沐浴した後、神聖な井戸水で作った食事を神と共に摂る事で天照大御神の御霊を継承しています。天皇は『日継』なので『火と日』はどちらも根っこは同じ『^ひ霊』だと言う。国造家と天皇家は鏡に映した表と裏の関係であり、まさに同族なのであります。



国譲りの舞台となった稲佐の浜

記紀神話には書かれていない出雲神話が出雲国風土記には、かなり掲載されています。その中で最も壮大な物語をご紹介します。大国主命のお爺さんに当る八束水臣津野命(やつかみずおみずぬ)が、中国山脈で両足を踏ん張ってカウボーイスタイル並みに、輪のロープを投げ西は三瓶山、東は伯耆大山を杭にして『^{くわ}国来、^{くわ}国来』と四か所から引き寄せ繋ぎ合わせて島根半島を造り上げました。その一つが新羅から引いて来た杵築の崎で、今の出雲大社がある地域です。また高志の国から引いて来たのが島根半島東部の三穂の崎(美保関)で、ロープの切れ端が、西の『^{くわ}菌の長浜(稲佐の浜)』であり、東の『夜見の島(弓ヶ浜半島)』だと言われる国引き神話です。

弥生時代に、このような発想の雄大さ、アイデアの奇抜さは類がありません。縄文の昔、お天気の良い時に三瓶山や大山に登り、このような地形を見て発想し、語部達によって受け継がれて来たのでしょうか？ まことに壮大な神話ですね！ あとの二つは佐伎と良波とされています。興味深いのは、佐伎とは古代朝鮮の弁辰12国の再奚(さき)から渡って来た人々によって開かれた隠岐島、島前の海人町の崎港だと言われています。良港とは朝鮮半島咸鏡(はむぎょん)北道明川郡の湾一帯を指す良化(りゃんふあ)の事だと言う。もしそうなら、朝鮮半島と深い繋がりがあり前回、安来節の時にタタラ製鉄のお話をさせて頂きましたが、朝鮮半島から渡来人が弥生時代に来たと話と符合しますね。これを証明するかのように出雲東部に古い加夜神社(朝鮮の伽那に通じる)があり、西部には韓銚(からかま)神社があります。銚(かま)とは鎌に通じ鉄に通じます。やはりタタラに通じますね。

出雲の国は大和朝廷が出来上がる以前の弥生時代後期に、朝鮮半島から広葉樹林(木炭)を求めて来日したと思われます。そして大和王権が確立する以前の弥生時代から古墳時代前期に出雲の国は最も栄えたと思われます。それが吉備・大和らの攻撃に屈し衰退して行きますが、大和政権が樹立されると、円墳系の前方後円墳が出雲西部を中心に造られていくのです。もしふるさと交流会で出雲に行く事があれば、私が率先してガイドを務めさせて頂くのですが・・・・・・ (終)

B-1 グランプリ in 豊川

宮本 直紀

第8回ご当地グルメでまちおこしの祭典！「B-1 グランプリ in 豊川」が、11月9日～10日に開かれました。

B-1 グランプリでは、一人一膳二票の投票権による箸の投票によりグランプリが決まる。3位に白石さんの故郷『勝浦タンタンメン』、7位に松本会長の故郷『出雲のぜんざい』が入っています。

投票結果は次の通りでした。

【ゴールドグランプリ】

浪江焼麺太国（なみえやきそばたいこく）

福島県双葉郡浪江町 31,242 グラム

【シルバーグランプリ】

十和田バラ焼きゼミナール（とわだばらやきぜみなーる）

青森県十和田市 30,375 グラム

【ブロンズグランプリ】

熱血！！勝浦タンタンメン船団（ねっけつかつうらたんたんめんせんだん）

千葉県勝浦市 26,785 グラム



浪江



十和田



勝浦

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 第 4 位 | 今治焼豚玉子飯世界普及委員会 | 愛媛県今治市 |
| 第 5 位 | 久慈まめぶ部屋 | 岩手県久慈市 |
| 第 6 位 | 三崎まぐろラーメンズ | 神奈川県三浦市 |
| 第 7 位 | 出雲ぜんざい学会 | 島根県出雲市 |
| 第 8 位 | 高浜とりめし学会 | 愛知県高浜市 |
| 第 9 位 | 田川ホルモン喰楽歩 | 福岡県田川市 |
| 第 10 位 | 四日市とんてき協会 | 三重県四日市市 |



※ 全団体の順位は公表しておりません。

※ 箸のグラム数は、上位3団体のみの発表となります。

2日間の合計来場者数 581,000 人